

KTK 京都ライトハウス通信 第104号

編集人 鈴木紘一 / 社会福祉法人 京都ライトハウス / 〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町 11
 代表番号 TEL 075-462-4400 FAX 075-462-4402 / 鳥居寮 TEL 075-463-6455 / 船岡寮 TEL 075-463-4649 FAX 075-467-2788
 URL: <http://www.kyoto-lighthouse.or.jp> / E-mail: info@kyoto-lighthouse.or.jp
 郵便局振替番号 (京都ライトハウス)01040-0-4470 (後援会)01090-3-9080 (運営資金寄付)00960-5-153295 / 1979年(昭和54年)8月15日創刊



新年のご挨拶

理事長 中谷佑一

新年明けましておめでとうございます。

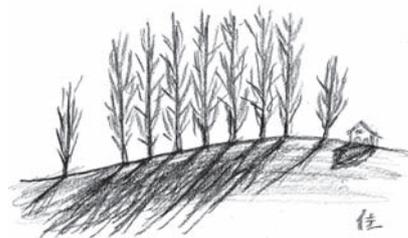
本年が平和で穏やかな1年となりますよう
 祈念いたしますとともに、皆様のご健勝を
 心からお祈りいたします。

昨年5月に前任の山口理事長の後任として
 就任いたしましてから、早半年が経過しまし
 た。京都における視覚障害者の灯台として、
 皆様方のご支援で建設されました京都ライ
 トハウスが本年も、より多くの方々に利用され、
 自立と社会参加にとって大切な拠点となりま
 すよう、職員一同頑張ってお参りますので、引
 き続きご指導、ご鞭撻いただきますようお願い
 致します。

さて、京都ライトハウスも建設後3年目を
 迎え、「身体障害者デイサービス・らくらく」
 「身体障害者通所授産施設・F S トモニー」
 の2事業を積極的に取り組む等、障害者が生
 き生きと利用できる施設になるよう充実・発
 展してまいりました。しかし、昨年来、社会
 福祉を取り巻く動きは厳しく、とりわけ障害
 者自立支援法が制定されるなど障害者福祉施

策が大きく変わろうとしています。利用者の
 応益負担増が盛られ、真の障害者の自立に影
 響があるものと危惧いたしております。今こ
 そ本法人の創設者・故鳥居篤治郎初代館長が
 実践された、一人ひとりを大切に、個別の
 ニーズに応えられる利用者サービスを目指し
 て種々の困難を撥ねのけて前進することが問
 われていると思っています。職員が知恵と力
 を発揮して新たな課題に果敢に取り組み、さ
 らに努力してまいります。

ご利用の皆様をはじめ、関係各機関の皆様
 のご指導・ご支援に、職員を代表して改めま
 して心から感謝と御礼を申し上げます。



京都ライトハウスの挑戦 —皆さんと共に歩む施設作り—

自立と社会参加が守られる法制度を目指して！ (第3回)

特別国会で審議が進められていた「障害者自立支援法」が去る10月31日の衆議院本会議で決成立したことはご承知の通りです。

この法律は9章116条からなる膨大なもので、詳細については政省令で決められていくとされています。京都ライトハウスでは、11月18日に京都府視覚障害者協会と合同の「自立支援法対策プロジェクト」を立ち上げ、11月12日に日本盲人会連合が東京で開催した指導者研修会での厚生労働省による自立支援法の説明会の報告を研修しました。また、京都ライトハウスが主管して開催された日本盲人社会福祉施設協議会リハビリテーション部会の職員研修会でも同日平行して自立支援法についての研修が行われました。現時点では、徐々にその全貌が明らかになってはきていますが、説明範囲が膨大なことに加えて、不確定な項目が多く、今号の誌面では皆さんにはっきりしたことが報告できないのが偽らざる状況です。

とは言うものの、既に法律は11月7日に交付されており、どのような影響が及ぶのかも含めて学習、行政への働きかけ、調査、影響予測とシミュレーションなどの準備が必要になってきています。

今回の法律では、障害者サービスの体系が自立支援給付と地域生活支援事業に分けられます。前者は個人給付による国庫による義務経費で運営されるのに対し、後者は市町村の裁量に委ねられた補助事業であるという点に大別されます。

施設や団体の各種福祉サービスへの影響予測については、まだ不明確なことが多いのですが、例えば、子供のデイサービスは明確に存続が記載されましたが、大人のデイサービスは再編されることから大変危惧されます。授産施設においても、就労移行支援として一般就労を目

指すのに対し、就労継続支援は福祉的な就労の場を確保する目的で更に雇用型と非雇用型に分けられています。前者は雇用継続に基づくもので、現行の福祉工場に相当するとされています。後者は、現行の授産施設や作業所など、いくらかの工賃収入を糧に継続するものと説明されています。また、鳥居寮のような生活訓練施設は、日中活動のサービスと夜間の居住サービスとに分離され、施設事業所の体系の大幅な見直しによりこれまでの33種類の施設体系から6つの日中活動に再編されます。その中には、介護給付として療養介護、生活介護が、そして訓練等給付があり、ここに視覚障害者の生活訓練が当てはまるものと考えられます。いずれにしても、今後、こうした影響予測に基づいた具体的なシミュレーションを実施し、機敏に情報を入手しながら立ち遅れないようにしていかなければなりません。私たちが目指す体制整備の基本は常に利用者の立場と制度の後退を招かないようにすること、そして事業所の存続に向けて最善を尽くすことだと思っています。

さて、今回の法律施行に当たっては、参議院厚生労働委員会での23項目に及ぶ付帯決議が添えられています。その主な内容の概略は、

第1には、障害者の範囲の検討です。法律では、3障害(身体・知的・精神)の一元化を打ち出したのに加え、発達障害、難病などを含めサービスを必要とする全ての障害者が適切に利用できる普遍的な仕組みにするよう検討を行うとしています。

第2には、就労の支援を含め障害者の生活の安定を図ることを目的とし、主として障害者の所得の確保にかかる施策の在り方の検討を速やかに開始しようとする点です。

第3には、障害福祉サービス及び自立支援医療の利用者負担の上限を決める際の所得の認定に当たっては、障害者の自立の観点から税制及び医療保険に親・子・兄弟の被扶養者でない場合、生計を一にする世帯の所得ではなく障害者本人及び配偶者の所得に基づくことを強調した点です。

最後に、年末には自立支援法関連の政省令が相次いで出され、関係官庁や福祉施設などは一層あわただしい年の瀬になりそうですが、障害者福祉の行方を左右するこの法律が真の自立支援法になることを念じて皆さんとともに、制度拡充に向けた働きかけと建設的な議論や学習、そして不安を抱かれる利用者への情報提供に大いに力を入れたいものです。

こんな症状でお困りでないですか？

〔・引越しや増改築、白蟻駆除などをしてから気分が悪くなった
・家にいるとなんとなく疲れやすい 等々〕

3つの建材をバランスよく使った
「**健やかづくり**」のシステム工法
自然治癒力を高める健康な生活をご提案致します

↓

竹炭入り **清活量**
天然の空気清浄塗りの壁材
幻の漆喰 しっくい
うづくり健康フローリング
音響熟成木材

◇ぜひ展示室で空気を体感してみませんか？

☆まずはお気軽にお問い合わせ下さい☆

有限会社 **ケアライフシステム**
京都市下京区中堂寺南町105
GH五条701 (五条七本松東南角)
TEL:075-323-0330 FAX:075-200-1034

新築やリフォームでも実感いただけます。
<http://www.CLS0333.com>

ライトハウス探訪 **こんなことしています!** 第29回

詩吟クラブ

中江 敏彦

世界の詩の中で、三千年の長きにわたって大河の流れのように、一貫して滔々と流れているのは漢詩以外にはありません。この漢詩の魅力に触れ、時代をこえて世界最高の詩をあじわい、これを吟じることの出来るのはまことに幸せであります。

ライトハウス高齢部の詩吟クラブは、1999年2月に一谷さんからの呼びかけにこたえて、4月から開かれました。

実は、1年前の1998年(平成10年)6月から、ライトハウス船岡寮の詩吟クラブへ月2回、第1・第3の火曜日の午後1時半から午後3時まで、5~6人の方達との出逢いが始まりました。ここでの詩吟の教室のことを聞いて、「私も仲間」と言って参加してきたのが桜井隆子さんでした。

高齢部の詩吟クラブが開かれるや否や、待ってましたとばかりに桜井さんは、次々に田中さん、村上さん達に呼びかけ、日を追って順次増えたり減ったりしながら、今では女性4人、男性3人の計7人が参加されています。

この教室は月1回第3水曜日の午後1時半から午後3時までの2時間だけです。本当はもう1回あるとよいのですが、指導者の都合が見つからないのです。

詩吟は、漢詩や和歌(短歌)・俳句などを、大きな声で吟じます。

例えば

少年老い易く 学成り難し
一寸の光陰 軽んずべからず
未だ覚めず 池塘春草の夢
階前の梧葉 已に秋声

という詩は、学問のすすめをうたった詩で、中国の南宋

時代の哲学者の朱熹という人の詩です。

先ず漢詩をよく読んで、何が書いてあるのか詩の内容をよく学習し、声に出して吟じます。

読書百回意、おのずから通ず という格言がありますが、正にその通りです。

詩吟をやると、こんなに沢山の良いことがあります。

- 1 腹の底から大声を出しますので、ストレスの解消に役立ちます。
- 2 腹式呼吸で声を出しますから、健康の増進に役立ちます。十年は若返ります。
- 3 新しいことを勉強しますから、ボケ防止に役立ちます。
- 4 教養が身につきます。
- 5 日本の歴史や中国の歴史がよくわかります。
- 6 いつまでもよい声が出ます。
電話で見知らぬ人と話をしますと、十歳以上も若い声だと言われます。
- 7 百歳まで、元気で生きられるかも知れません。
新しいことを次々に勉強しますから、人生が楽しいです。
生き甲斐のある人生が送れます。

みなさん是非一度、詩吟クラブへ見学にきて下さい。お待ちしております。

吟道賀堂流長岡京吟詠会 大師範 中江賀秀山



詩吟クラブの生徒さん達



中江さん



佐

部 署 通 信

ライトハウス だより

鳥居寮
リハ部会報告

11月17日・18日の2日間、平成17年度日本盲人社会福祉施設協議会・リハビリテーション部会・施設職員研修会が、生活訓練部・鳥居寮の主管で、京都ライトハウス4階ホールを会場に開催されました。

関東・関西を中心に地元京都を含め、28人の視覚障害リハビリテーションに関わる施設職員の方たちに参加していただきました。他に講師の方4人、オブザーバーとして他部署の職員や京都府視覚障害者協会の職員の方たちの参加もありました。

研修の内容としては、最近国会で可決された「障害者自立支援法の問題点と課題」と題する立命館大学峰島厚教授の講演や、新京都ライトハウスの業務紹介など、そして京都府視覚障害者協会が行っている「京都市中途失明者生活指導員派遣事業」の紹介、さらに鳥居寮修了生の濱本捷子さんの「私の受けた生活訓練」と題したお話など、大変幅広いものでした。

中でも「障害者自立支援法」に関する講演をお聞きして、視覚障害者リハビリテーション施設の今後についても、厳しい状況が身に迫ってくる思いに駆られました。現状でどのように対応してゆけばよいのか、はっきりしたイメージを持つ事の難しさに困惑する思いでもありました。

それはさておき、参加者からは「久しぶりに、出てよかったと思える研修会だった」などと、うれしい感想をいただくことも出来ました。

鳥居寮職員一同、他の施設の職員の方たちとさまざまな情報交換をする事もでき、改めて生活訓練への思いを新たにす2日間でした。

情報ステーション

琵琶の音に包まれて平家物語の
世界を楽しんだ「ほっこり散策」

11月10日の午後、絶好のお天気の下、八坂神社に集まったのは総勢77人！ 途中では平家にゆかりのある灯笼などの説明も加えながら、円山公園奥の山沿いにひっそりとたたずむ長楽寺へとむかいました。今はごちんまりとしています。その昔は桓武天皇勅命による最澄が開基した広大な寺領を持っていた由緒あるお寺です。ご住職のお話を伺い建礼門院と800年前の安徳天皇形見の直衣などをゆっくりと拝見することができました。

そしてとっておきの催し、筑前琵琶の第一人者片山旭

星氏による演奏会が始まりました。曲目は、平家物語の有名な出だし「祇園精舎」、熊谷直実と平敦盛の「一の谷」、そして隠せいられていた建礼門院を後白河法皇が訪ねて長い身の上話を綴る「大原御幸」の3曲でした。源氏に敗れた平家の悲しみが琵琶の音に揺られてあるときは激しくあるときはもの悲しく長楽寺に流れ、80人近い人々を魅了しました。その曲間にも質問をお受けいただき、特に今回たくさん来ておられた箏曲・三味線の演奏家の方から質問が相次ぎました。どのような姿勢で演奏されているのかに始まり、演奏された琵琶の絃は絹糸が使われていたこと、よりのかかった絹糸はナイロン糸にはない柔らかな音色となること、様々な情景を巧みな演奏方法でどのように表現されているのかなど、専門的な内容も多かったのですが、片山氏には快くお答えいただきました。

「大原御幸」の余韻がただよう中、名残は尽きませんでしたがみなさんの心は満足感に満ちあふれて長楽寺を後にしました。丁寧にご説明ご案内いただいた長楽寺のご住職と名演奏の片山旭星氏に深く感謝申し上げるとともに、これだけおおぜいの方々にお越しいただき、雨男もびっくりするような好天気にも恵まれての充実した散策となりました。



点訳サービス・点字図書出版

有限会社 オフィス **リエゾン**

視覚障害者手帳をお持ちの人は点字図書が原本価格で購入できます。
出版総目録(墨字・点字)を無料で送ります。
外国語・楽譜・立体コピー作図なども点訳しています。
お気軽にお問い合わせください。

TEL: 0774-56-3907
E-mail: liaison@kk.ij4u.or.jp
ホームページ: http://liaison.ne.jp
〒610-0121 城陽市寺田市ノ久保2-63

情報製作センター

点字プリンターの購入にご援助を頂戴
(みずほ福祉助成財団様)

点字教科書の製作に関わって約3年が経過しました。教科書点訳は、専門的な知識・正確な点訳・使いやすさなど、さまざまな力量・経験・配慮が問われます。また最近では、写真や図・表・グラフを多用した教科書が多く、点字教科書もそうした流れに対応し図形化するものが増えてきています。図形を打ち出す際は、点字プリンターに備えられた3種類の点を使って、前後左右にたいへん複雑な動きをしながら打ち出します。

ところが、図形を打ち出せる点字プリンターが、長年の酷使でそろそろ限界に近づいていました。多くの時間と手間をかけて作った図が、プリンターのせいで使い物にならなくなるという不安を抱えながらの教科書製作でした。

※この度、新たに点字プリンターの購入に対し、「みずほ福祉助成財団」様から助成していただくことになりました。

2006年度で使われる点字教科書の製作がすでに始まっています。購入させていただいた点字プリンターを活用し、点字教科書事業をさらに充実・拡大していきたいと存じます。ありがとうございました。

あいあい教室

義眼相談始めました

あいあい教室の通園や訪問で関わっている子どもたち54人中、3分の1近くが未熟児網膜症のお子さんで、最近、「眼科に行ったら義眼を入れるように言われた」という方が何人かおられます。「義眼でどんなもの?」「目に入れても痛くないの?」「光を感じるのに義眼を入れて大丈夫?」等々の相談を受けます。そういった中で、昨年度から年に3回、京都の義眼製作業者の方に来ていただき、お子さんの目の状態に合わせたアドバイスをしています。

未熟児網膜症のお子さんは、左右の目の成長が違う場合があり、目の周りの骨に左右差が出てきます。そういっ

2006年(平成18年)1月1日(5)

た場合は骨の成長を助ける目的で義眼を入れます。しかし、わずかでも光の感覚が残っている場合は、眼球の中心に透明部分をつくり外界からの光を取り入れられるタイプの義眼を装用します。これまで義眼といえば、眼球摘出後に眼窩に装用するのが一般的でしたが新しいタイプの義眼が開発されています。

今は相談が主ですが、義眼を装用している人の健診や研磨などのケアもしていただけるので、この機会を有効に活用していただけたと思います。

F S T モ ニ ー

日帰り旅行で「琵琶湖博物館」へ

11月15日火曜日、「F S T モ ニ ー」では、「琵琶湖博物館」への日帰り旅行を行いました。

この博物館は、当然のことながら、障害者にも十分対応しており、車いすの人も館内では自由に動き回ることができました。また、昨年行った「ミンパク」ほどではないにしろ、ガラスケースなどに入っているもの以外は基本的には触れてもかまわないということで、視覚障害者の人たちも楽しめたことと思います。

展示については、滋賀県の歴史と琵琶湖に関するものがほとんどで、歴史時代から近・現代までのさまざまな資料、そして地質時代の化石から琵琶湖の生い立ち、現在の琵琶湖の環境までと、なかなか興味深いものがあります。館外には琵琶湖沿いに散策コースもあり、ここは広々としていてとても気持ちのよいところです。

忘れてならないのは、やはり昼食のナマズの天ぷらでしょう。とはいっても、味は柔らかい白身の魚といったところで、いわねければきっとナマズとは気がつかないと思います。もちろん、これは皆さんが食べたわけはありません。「そんなもん、絶対にイヤッ」といっていた人もいましたから。

ここで皆さんのご意見をいくつか。

「世に出始めたころのテレビや洗濯機なんかがあって、懐かしかった」

「大陸がレリーフになっている大きな大きな地球儀があって、視覚障害者にも大陸の位置関係がよくわかった」「琵琶湖の魚はカラフルでないなあ。地味な色やなあ」

消防設備・設計・施工・監理

その他消防用品販売



近畿報知機株式会社

京都市右京区嵯峨野嵯峨ノ段町1の17

電話 (075) 881-2738 番(代)

FAX (075) 881-8188 番

永年の信用・まごころのご奉仕

葬祭センター

公益社

本 社 / 京都市中京区烏丸通三条下ル ☎075(221)4000

フリーダイヤル ☎0120-00-4200

◆ 葬儀式場 ◆

公益社北フライトホール(堀川黎明)京都市北区黎明通堀川東入 ☎(075)414-0420

公益社中央フライトホール(五条大和大路)京都市東山区五条通大和大路 ☎(075)551-5555

公益社南フライトホール(堀川八条)京都市南区堀川通八条下ル西側 ☎(075)662-0042

公益社西フライトホール(五条西大路)京都市右京区五条通西大路西入ル南側 ☎(075)322-0042

公益社宇治フライトホール(宇治横島)宇治市横島町(文教大学前) ☎(0774)20-0042

公益社滋賀フライトホール(大津)大津市朝日が丘1丁目 ☎(077)523-0042

(6) 2006年(平成18年)1月1日

京都ライトハウス通信 No.104

「えっ、ナマズですか。どうってことはなかったですよ。おいしかったですよ」

「湖畔を歩いていると、とても気持ちがよかったな。もう少し暖かい季節にゆっくり来てみたいな」

最後になりましたが、この日はとてもよい天気だったことを申し添えておきます。

らくらく

今年の漢字は？らくらくバージョン

恒例になりました日本漢字能力検定協会の全国公募による「今年の漢字」。去年は「災」が応募の22%を集めてトップでした。今年も募集のお話がマスコミなどに載る季節となりました。そこで、私たちらくらくでも皆で漢字を選ぶことになりました。

「敗。日本シリーズ4連敗」

(ちょうどこの話題で盛り上がっていた頃でした)

「半。リーグ優勝してうれしい。日本一になれなくて悔しい。半々」

「変。変わった年やったからこれでしょう」

「明。明るいことがいっぱいほしい」

「株。ホリエモンや村上ファンドなどで大騒動になったから」

「愛。愛・地球博が盛り上がった。私は行きたかったけど行けなかった」

「笑。らくらくに来てたくさん笑って帰るから」

「脱。電車や政治が脱線しているから」

「惨。電車事故やハリケーンなど悲惨なことが多かった」

「改。郵政改革などが本当にちゃんと進んでほしい」

他にも多数上がりましたが、きわどく？「愛」が3票を集めてトップとなりました。皆さんの選ばれた漢字はインターネットでさっそく応募。果たしてこの中に清水寺の貫首さんに揮毫していただける漢字はあるでしょうか。最後は船岡寮からお借りした習字道具を使って、皆で選んだ漢字を半紙に一筆したためました。2006年こそは、笑いや愛であふれる年になりますように。



船岡寮

「芋掘り」

10月9日に、静原の芋農園に芋掘りに行ってきました。

毎年、この時期に芋掘りに行っていますが、利用者の皆さんは、とても楽しみにしておられ、利用者の皆さん9人とボランティアの方、実習生の方と行ってきました。

前日の雨で、当日、晴れたとしても足場が悪く、芋掘りができるかどうか心配でしたが、秋晴れのお天気にも恵まれたのと、農園の方が駐車場のすぐ横の畑を段取りして下さったりで、心配なく芋掘りができました。

利用者の皆さん、軍手をして手ヤスコップで少しずつ掘っていかれましたが、大きなお芋がごろんごろん土の中からでてきました。

「ほう、これは大きいな」などと言われ、皆さんどろんこになりながら、次から次へと掘っていかれました。

ちょうちやが飛んでいたり、コスモスが咲いていたりして、とっても田舎に来た感じもして、「いつもは、狭い船岡寮やけど、空気もおいしいし、すがすがしい気分になるね。」と一服しながらのんびりされている方もおられました。

掘ったお芋は、船岡寮のおやつで、とてもおいしく食べました。

けがや事故もなく行って来れましたのもボランティアの皆様のおかげです。どうもありがとうございました。



おしらせ

■第39回白杖安全デー 10月10日(月)

—視覚障害者の交通安全を

訴えながら四条通りをパレード—

目の愛護デーにちなみ、視覚障害者の交通安全を府・市民の方に一緒に考えていただくつどい<白杖安全デー>を行いました。今回は実行委員会で検討を重ねた結果、より多くの市民の皆様理解をを広げたいとの思いから、

ゼスト御池のつどいの後、地上でのパレードも行いました。

今回のテーマは「みちなのに、みちじゃない」ーあなたの心はバリアフリー？ー。ゼスト御池のつどいで行った小学生の作文コンクールの表彰では、目の不自由な人やお年寄りの方などに思いやりあふれる内容で、会場は小学生の朗読に聞き入っていました。

パレードでは、立命館大学の応援団吹奏楽部33人と出前ちんどん5人の学生の皆様にご協力いただき、河原町御池～四条烏丸までを交通安全を訴えながら歩きました。視覚障害者協会の会員の方やガイドヘルパー、ボランティアの方など400人近くの人達が、音楽に合わせて、京都のメインストリートを歩きました。今回は多くの会員の皆さんの参加があり、中には90才の方もおられ元気づけられました。また、立命館大学の学生さんの若い力をお借りできたことも、パレードの成功に繋がりました。

来年は40回を迎えます。よりアピール力のある企画等がありましたら教えて下さい。



■第31回「あい・らぶ・ふえあ」の御案内 ～来て見て体験！ 見えない世界～

視覚障害者福祉の推進を目的に、今年度も「あい・らぶ・ふえあ」を開催します。

一人でも多くの方々にご参加いただきますようお願いいたします。

日時：2006年1月19日(木)～22日(日)

午前10時～午後6時(22日は午後5時まで)

会場：大丸京都店 7階南側 特設会場

内容：

【見えない、見えにくい人への思いを描く

小学生絵画コンクール】

小学校高学年の児童から視覚障害者に関わる絵を募集しました。

(優秀作を会場に展示し、来場者の投票も含め最優秀作を選考します。)

【盲導犬がやってくる】

【いろいろ体験してみよう】

○手引きして一緒に歩いてみよう。

○点字を書いてみよう。

○体験眼鏡をかけて「見えにくさ」を体験しよう。

【ちょっとした工夫でこんなに便利】

日常生活であれば便利なグッズ

【ゲームでステキな賞品を当てよう】

【私たちの暮らしについてお話しします】

【その他の企画】

・お琴の演奏 ・視覚障害者のボールゲーム

・授産製品等の販売

詳細は京都ライトハウス「あい・らぶ・ふえあ実行委員会事務局」まで

■盲学校用中学校数学の点字教科書における 点字表記の一部変更に関する説明会

2006年度から中学校の教科書が改訂されるにあたって、盲学校で使用される点字教科書の作成が進められており、数学の点字教科書の表記の一部が変更されることになりました。そこで、その変更点等について、数学教科書の点字に関わっておられる方々への説明会を次のとおり開催いたします。

お申し込みは、1月23日(月)までに情報ステーションへ。

電話 075-462-4579 FAX 075-462-4434

Eメール joh@kyoto-lighthouse.or.jp

(なお、初心者向けの講習会ではございませんので、ご承知おきください。)

日時 1月29日(日) 13時30分～15時30分

会場 京都ライトハウス地下研修室1・2

定員 70人(申込多数の場合、1グループ内で調整をお願いする場合があります。)

内容 盲学校用中学校数学の点字教科書の点字表記の変更点、その他関連事項等

説明者 加藤俊和

(京都ライトハウス情報ステーション所長)

■鳥居篤治郎先生について上村邦夫氏の講演

第35回ボランティア・利用者のつどいを下記のとおり開催いたします。

京都ライトハウスが鳥居篤治郎先生によって現在の鳥居寮の地に誕生して45年、1970年に亡くなられた鳥居先生を直接知る人も少なくなっまいました。

今回の「つどい」は、長きにわたって鳥居先生を支え続けるとともに、点字図書館そして京都ライトハウスを発展させてこられた元京都ライトハウス点字図書館長の上村邦夫氏をお迎えすることになりました。京都ライトハウスの黎明期からのご苦労や鳥居先生のエピソードなどをたっぷりとお聞きしたいと思います。ご自由にご参加ください。

日時 3月2日(木) 13:00～15:45

場所 京都ライトハウス4階ホール

内容 ボランティア表彰

講演 「鳥居篤治郎先生と京都ライトハウス」

講師：上村邦夫氏

(元京都ライトハウス点字図書館長)
上村邦夫氏を囲んで

「視覚障害者京都マラソン大会実行委員会事務局」
TEL 075-462-4400 FAX 075-462-4402
URL <http://www.kyoto-lighthouse.or.jp/>
E-mail info@kyoto-lighthouse.or.jp
(※ 件名は『マラソン大会』をお願いします)

■第23回視覚障害者

京都マラソン大会開催のお知らせ

今回も西京極総合運動公園陸上競技場をメイン会場に、例年通り3月第1日曜日に開催することとなりました。この大会は視覚障害者のみを対象とした大会で、毎年全国から130人近くの視覚に障害を持つランナーが参加しています。また、視覚障害者をサポートしながら走る伴走者として、学生・社会人など多くの府・市民ボランティアにご協力をいただいています。

前回は視覚障害関係6団体で結成する大会実行委員会と株式会社わかさ生活様の共催でしたが、今回は株式会社わかさ生活様が特別協賛企業として、物心両面にわたり大会をサポートしていただくこととなりました。

全国的にも希少な視覚障害者だけのマラソン大会として、一人でも多くのランナーにご参加いただくと共に、広く府・市民にもこの大会を知っていただきたいと願っております。

主 催 視覚障害者京都マラソン大会実行委員会(社団法人 京都府視覚障害者協会・社会福祉法人 京都ライトハウス・京都障害者スポーツ振興会・社会福祉法人 京都府社会福祉事業団 視力障害者福祉センター・社会福祉法人 紫野福祉センター 洛西寮・財団法人 関西盲導犬協会)

特別協賛 株式会社わかさ生活

開催日 2005年3月5日(日) ※雨天決行

会場 西京極総合運動公園陸上競技場及び周辺道路
競技種目 距離別(10km・3km・1km)、男女別、全盲・弱視別

受付 午前10時00分～午前10時30分

スタート 1kmの部 11時40分

10kmの部 12時10分

3kmの部 12時15分

参加資格 視覚障害者(身体障害者手帳取得者)または、盲学校・視覚障害者施設の在籍者で、中学生以上の者として。なお、10kmについては、2006年3月5日現在、満16歳以上で、70分以内にゴール出来る者として。※参加費は無料とします。

申込方法 申込用紙に必要事項をご記入の上(原則として墨字)大会事務局まで郵送でお申込み下さい。※申告タイムは必ずご記入下さい。

申込締切 2006年1月15日(当日消印有効)

備考 京都市少年合唱団による合唱と、児童を対象とした『手引き体験会』を実施予定。

大会事務局

〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町11
社会福祉法人 京都ライトハウス内

■2006年度の点訳や

音訳の講座は4月から始めます

京都ライトハウス情報ステーションでは、点訳や音訳、その他のボランティア活動を始めたい方々への講習会として、基礎的な講座を2006年4月22日(土)と5月13日(土)に予定しています。そして6月から、点訳については月2回、音訳については毎週1回の講座を予定しています。詳細は3月以降に、情報ステーションまでご連絡ください。

電話 075-462-4579 FAX 075-462-4434

Eメール joho@kyoto-lighthouse.or.jp

■第23回京都ライトハウス

点訳ボランティア認定試験

京都ライトハウスの視覚障害者情報提供部門(情報ステーション・情報製作センター)の点訳ボランティア(晴眼者)でご協力いただく方の認定として、次の要領で実施いたします(事前申込制)。

受験資格については特にありませんが、京都府・京都市の点訳奉仕員認定試験合格者以上の点訳技術・技能を有する方々を想定しています。

①会場試験

【日 時】 4月11日(火) 13時～(時間厳守)

【場 所】 京都ライトハウス地下研修室1・2

【持 ち 物】 点字器(点字タイプライター使用の場合は事前に申し出ること。パソコンなどの電子機器と携帯電話の持ち込みは不可)・参考資料・筆記用具

【試験内容】 「校正問題試験」(点字で解答のこと)

【定 員】 先着40人

【申込方法】 はがきか封書に「点訳ボランティア認定試験受験希望」と明記し、氏名(ふりがな)・郵便番号・住所・電話番号・性別・生年月日・修了された講習会名と修了年度を記入して「京都ライトハウス 情報ステーション 矢部」までお送りください。

【申込締切】 3月27日(月) 必着

②在宅試験

会場試験の成績が一定レベル以上の方に受けていただきます。在宅試験のみの申し込みはできません。

【試験内容】 「点訳問題・漢字読み取り点訳問題」の2科目(5月中旬ごろに実施)

■養護老人ホームの制度変更について

来年4月に養護老人ホームと軽費老人ホームの制度変更が予定されており、盲養護老人ホームもこの対象となります。

その変更の内容として大きく変わる事の一つは、老人ホームを利用されている利用者の方が介護保険のサービスを利用できるようになる事です。今までは介護保険料を負担していたにもかかわらず、介護保険のサービスが利用できずにおり、重度の介護が必要な方々が養護老人ホームでは十分な介護が受けられずにいました。その対応のために養護老人ホームを在宅(住まい)とみなし、介護の部分を介護保険からのサービスで対応していく事になったわけです。

これに伴い入所措置基準や設備・運営基準も変更される予定です。変更の内容が細部まで厚生労働省より示されるのは来年2月頃になる予定ではないかと聞いています。

寮で生活されている利用者への介護のサービスは、職員以外のヘルパーが行なう形になるのですが、全く外部のヘルパー派遣事業所に依頼するよりは視覚障害老人への専門的な援助が必要となるために、ライトハウスとしてヘルパー派遣事業所を持ち、そこからのサービスをと考えています。

この制度変更については、まだまだ具体的な事が分からない現状ではありますが、寮を利用されている方々が困ることのないよう、むしろこの変更で寮での毎日が今以上に豊かな生活となるように、来年4月に向けて準備を進めていきたいと考えています。

■「2006年度 京都ライトハウス

点訳ボランティア中級講座」開催のご案内

京都ライトハウスの視覚障害者情報提供部門(情報ステーション・情報製作センター)の点訳ボランティア・点字指導者(晴眼者)の育成を目的として、標記講座を次の要領で開催いたします。受講希望者は、事前にお申し込みいただいた上で、下記の説明会・受講者選抜試験に必ずご参加ください。

《講座の概要》

【開講日時】計20回 2006年5月～2007年2月

毎月第2、4、5の金曜日
(8月11日、12月29日を除く)
13時30分～15時30分

【開講場所】京都ライトハウス

【内 容】『点訳のてびき 第3版』の詳細説明、読み方練習、点訳・校正練習、資料調査実習、ほか

【定 員】10人程度(受講者選抜試験の成績により選考)を予定

【申込方法】所定の申込書(1月10日から配布)に必要な事項を記入して、2月25日までに京都ライトハウス「点訳ボランティア中級講座」係まで。(先着60人まで受付)

【問い合わせ】京都ライトハウス

〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町11
(担当:渡辺)
電話 075-462-4446(情報製作センター
点字製作室) FAX 075-462-4449

◇講座の説明会および受講者選抜試験

【日 時】3月10日(金)13時30分～(時間厳守)

【場 所】京都ライトハウス地下研修室1・2

【持 物】点字器(点字タイプライター使用の場合は事前に申し出ること。パソコンなどの電子機器と携帯電話の持ち込みは不可)・参考資料・筆記用具

【内 容】講座の説明および受講者選抜試験(点訳問題・校正問題(墨字で解答)・漢字読み取り点訳問題の3科目)



■廣田幸稔様

例年5月と10月に開催されております「廣田鑑賞会能」が10月2日、金剛能楽堂において開催され、今回も多数の視覚障害者をご招待いただきました。
大変ありがとうございました。

■梶 寿美子様

10月10日、アバンティホールにおいて「梶 寿美子 箏リサイタルー 箏の音が好き、人が好きー」を開催され、多額のご寄付を頂戴しました。運営資金として活用させていただきます。
大変ありがとうございました。

■稲谷奈緒美様

11月12日、京都府立文化芸術会館において「稲谷奈緒美 リサイタル 2005 ～シャンソン&タンゴ～」を開催され、多数の視覚障害者をご招待いただきました。
大変ありがとうございました。



次の通り、数々のご芳志をいただきました。厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。
(50音順・敬称略)

2005年10月1日～2005年11月30日
寄付金 91件 5,554,028円
物品寄付・ご奉仕 141件

【寄付金】

ECC地球救済キャンペーン事務局、池尻野恭子、イシダ、五十川静江、入江渥子、音と語りのプロムナード、梶宏、加藤恵美子、加藤博史、岸陽子、北岸達三、北田博朗、北村泰子、木村道子、京田辺点字サークル「すみれ」、京都新聞社会福祉事業団、京都堀川ライオンズクラブ、京都市神川児童館、京都市北区社会福祉協議会、京都市立高等学校人権研究会、京都府立盲学校PTA、久保佳子、黒川義直、公益社、国際ソロプチミスト京都一みやこ、酒井皓右、塩尻昭子、重田雅子、下京区七条第三地域女性会、須藤清光、聖母学院中学高等学校吹奏楽部、タキイ種苗、立花明彦、ツツキオートサービス、堤明子、点友会、同志社中学校、百々眼科診療所、富村税理士事務所、中澤眞佐、中橋彌光、南海福祉専門学校、西田芳美、ニチコン、任天堂、ノートルダム女子大学、花園大学社会福祉学科、浜川妙子、春田泰文、東山区社会福祉協議会、平野久美子、深田美知子、藤井英子、松崎小児科、松村登、茂木幹央、守屋新、安洲眼科医院、山内幸恵、山口晴生、楽只自主防災会、わかさ生活、ワコール、匿名(24件)

【物品寄付・ご奉仕】

アイベル、青山弘、浅田八重子、浅見伸一、あすなろ会、足立礼子、伊佐迪子、石田英世、石田正美、磯部治、伊藤純男、伊藤治子、岩瀬正美、岩田愛子、内田務、江口ひろこ、大川勝三、おおさかや、大谷八重子、大町勝啓、奥村久子、小野富夫、梶寿美子、梶宏、梶原清一、勝山和男、勝山君子、加藤紀江、鎌谷成美、川坂真也、河瀬須恵、木崎歌子、北垣せつ子、北村貞人、北村宗昭、木下幸子、木村芳子、京都産業大学新社会ボランティアサークル、京都混声合唱団、蔵本智子、桑原あずさ、京阪プリント資材、国際ソロプチミスト京都一みやこ、コジマ電気、小中路子、サークルにじ、佐川せつ子、佐々江温子、塩見章子、柴田慶子、清水千恵子、シミズ・ビルライフケア関西、白川好光、白坂澄夫、鈴木さほ、聖母学院ハンドベル部、聖母学院中学高等学校、関房子、惣塚多恵子、高野嘉子、高橋信吾、タケウチ、武内巖、竹内勉、武村博、田中みゆき、田中陽子、田辺誠子、谷川正雄、田村潔、塚田正子、つくしの会、辻謙一、点字学習を支援する会漢字学習支援グループ、点友会、永井美知子、永井康代、中江利彦、中島田鶴、中島美津子、中田英子、中西恵美子、中西恒夫、菜畠京一、西岡康博、西野美代子、西村ゆり、野村久子、橋本敏夫、長谷川きよ子、畑勇子、原田勉、馬場俊明、馬場康子、平河義昭、フォルクス金閣寺店、吹野喜久子、福島洋子、藤井綾子、藤田慧子、藤山和子、北京亭、北條瀧枝、前田たえ子、前田不二子、牧野勝子、松崎美恵子、松本すみ子、美内輝子、三村敏子、宮崎裕土、村岡洲巳子、森初子、山下祐嘉里、山田弘子、山中良三、山畑文雄、山本巖、山本紗英子、湯浅昭次、横田弘子、吉田善次、リーブル京都、リョービマジクス、朗読グループあいあい、渡部隆三、侘助、匿名(2件)

京都ライトハウス後援会より

次の通り、後援会費と運営資金寄付金を納入いただきました。会員の皆様のお名前を掲げ、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。(50音順・敬称略)

2005年10月1日～2005年11月30日

後援会費 34件 68,000円

運営資金寄付金 31件 260,859円

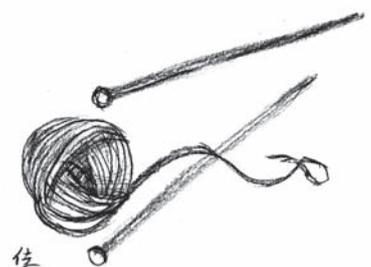
愛きもの、芦田賀寿夫、安達順子、安達信之、荒木靖子、井口クニコ、石津利幸、石津満寿美、石村朝子、岩野キミ、植田源子、奥村透、蔭山精一、金沢蓮子、小池一三、後藤歯科医院後藤亨、酒井典子、榊美智子、杉内貞子、高木敏夫、高山千穂子、田中武、玉田和江、佃静子、藤堂まり子、中塚宏子、並川秀子、南條ひとみ、南波悠紀子、南部ヨシ子、西井千恵子、服部俊子、日置美代、平山幸二、藤木光男、富部勝子、堀井功、松本十六子、水口喜代子、山口医院山口登、山崎直子、脇川恵美子

編集後記

自立支援法が施行されることで施設が今後どうなっていくのか、非常に不安なところです。

当然受けることのできていた制度の中身が、条件の厳しいものに変ったり、負担金が応能負担から応益負担に変わるなど、福祉の有り様が私たちにはますます冷たいものになりそうです。

今も、これからも、私達一人ひとりの声をしっかり上げていく必要を切実に感じています。(M)



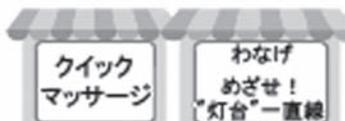
船岡まつり 2005

～全施設をあげての祭り企画として盛況の内に終わる!～

10月30日に開催いたしました、「船岡まつり2005」は地域と施設をつなぐイベントとして、多くの方々のご参加で盛大な催しとなりました。ご来場いただきました方々に深く感謝申し上げます。当日は、船岡老人クラブハウスの発表・交流会と京都ライトハウスの模擬店の企画をドッキングして行ないましたところ、子ども連れのご家族や地域の方々のご参加があり、大変賑やかな終日となりました。企画に携わりました実行委員会としましても、確かな手応えを得て、新たな一步を踏み出すことができました。秋晴れの爽やかなイベント企画の成功を先ずは皆さんにご報告しておきたいと思えます。

なお、まつりの運営に際して、地域の方々を始め、利用者の皆様、お取引先各位より物心両面にわたる多大なるご支援をいただきました。

ここに厚くお礼申し上げます。



☆☆☆京都ライトハウス後援会からのお願い☆☆☆

— 京都ライトハウスの運営に皆様の一層のご支援を —

京都ライトハウスは、京都府・京都市をはじめ、多くの皆様方の絶大なご支援のおかげを持ちまして子どもからお年寄りまでの障害者の総合施設として日々運営に努力しております。新築後早2年を経過しようとしていますが、喫茶、用具販売、各種相談事業など、新たな利用も広がっています。また、昨年度以来見学者の数も多く、施設が果たす社会的役割も担えるようになって参りました。引き続き、施設が障害者をはじめ、市民の方々に広く開放され、有効な情報提供と相談支援の拠点施設となりますよう、役職員一同が一丸となって努力して参りたいと存じます。

さて、ご承知の通り、来年4月からは、障害者の社会福祉の仕組みが大きく変わろうとしています。「障害者自立支援法」の施行により、従来の施設利用の仕組みが変更されます。又、盲人養護老人ホーム「船岡寮」も介護は介護保険の利用が可能になるなど、施設運営と利用者サービスの上で、大きな変革期を迎えています。現在、そうした制度変更に対し、スムーズな移行ができるよう、準備体制作り着手しているところですが、国や自治体の財政圧縮による制度変更が根本的な問題となっており、益々法人全体の財政運営が厳しくなることが予測されます。そこで今号に於きましても、大変恐縮とは存じますが、引き続き後援会のさらなる拡充と事業運営を財政的な面から支えて頂きますよう、よろしくごお願い申し上げます。まだお振込み頂いておられない方やご入会頂いておられない方々へ、後援会より重ねてのご支援をお願い申し上げます。また、知人・友人の方々にも、こうした趣意をご理解頂ける方々がおられましたら、是非ご紹介頂ければ幸いです。どうかよろしくごお願い申し上げます。

2006年1月

京都ライトハウス後援会

年会費：金2,000円

取扱窓口：〒606-8302 京都市北区紫野花ノ坊町11

社会福祉法人 京都ライトハウス (075-462-4400)

郵便振込：振替口座番号 01090-3-9080

銀行振込：UFJ 銀行西陣支店普通 46565

口座名：京都ライトハウス後援会

(氏名には必ずふりがなをご記入願います。)

☆年会費 2,000円を超える額を振り込んでいただいた場合は、その超えた額を今後の運営経費確保のために後援会に積立てさせていただきます。事情ご推察の上、格段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

 三井住友海上火災保険株式会社
三井住友海上きらめき生命業務受託

京都総合保険事務所

最小の掛け金で、あなたに合った最大の保証をお探しいたします。

火災保険・自動車保険・生命保険・介護費用保険・賠償責任保険・他

所長 **藤井 務**

京都市左京区一乗寺東杉の宮町42 第6京土ビル3F

TEL (075) 705・1157
FAX (075) 705・2080

新車・中古車販売
一般整備・点検・車検
钣金・塗装

クサカ自動車 有限会社

京都市北区紫野西舟岡町3
〇七五―四四一―五三五七

たしかな味と手頃なお値段で

精進料理 **お多長**

〒616 8047 京都市右京区花園宮ノ上町三十二
TEL 〇七五―四六二―五三三五
FAX 〇七五―四六三―三一四五

謹賀新年



株式会社 ソナール

代表取締役 **佐々木久廣**

京都市右京区西京極畔勝町30番地
TEL 〇七五―三二二―四八六六
FAX 〇七五―三二五―四七一〇

セブンイレブン

京都千本北大路店

京都市北区紫野下御輿町23
〇七五―四九一―四七三三

スウィング

総合医療機器

SWING

〒520-0226 大津市陽明町5-13
TEL.077-573-9854
FAX.077-573-6961

洋紙・高級板紙・特殊紙・不織布
包装資材全般

宏陽 株式会社

京都市南区吉祥院石原堂ノ後町1
TEL 〇七五―六六一―一七〇一
FAX 〇七五―六六一―一七〇一

旬の味を大切に
手づくりのお惣菜の店

おツツ「つる華」

着色料・保存料などの合成添加物は使用しておりません。
安心してご購入下さい。

京都市上京区千本寺ノ内下ル
(乾隆小学校バス停前)
TEL 〇七五―四六六―三三五九

くらしの便利屋さん
(お困り事、とりあえず
ご相談下さい!)

NPO法人くらしコープ

京都市北区紫野東野町一―五
TEL 〇七五 四三二―三三三六

お引越・ご旅行のご用命は――
引越・貸切バス

株 宇治吉田運送

海外・国内旅行

日進トラベル

0774 8291
0774 3311

設計・施工から維持管理まで、
建物を知りつくしたシミズが見守り、
ライフサイクルコストを低減します。

いつまでも価値ある建物のために
安心と安全をお届けします

清水建設グループ

株式会社 シミズ・ビルライフケア関西

京都営業所
〒600-8023 京都市下京区河原町通松原上る2丁目富永町338番地
TEL. 075-353-4977(代) FAX. 075-341-7368

本社
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目3番7号肥後橋シミズビル6階
TEL. 06-6443-0508(代) FAX. 06-6443-9074

夜のロマンチックタイム

田村ふとん店

京都市上京区千本通上長者町下ル二〇
0451-1265 FAX 0451-1266
http://www.kyoto-senbon.or.jp/tan
E-mail:tan@kyoto-senbon.or.jp

株式会社 内藤建築事務所

代表取締役 **小島重喜**

京都市左京区田中大塚町一八二
電話(〇七五)七八一―四一一

地域一番店に挑戦
総合家庭電化製品(各種電気工業)

―新大宮―

株式会社 鎌田電機

京都市北区新大宮通り北大路上ル西側
TEL 〇七五 四九一―四九八一(代)
FAX 〇七五 四九一―〇六三六

日清医療食品株式会社

ヘルスケアフーズの明日を考える

京都市中京区烏丸御池下ル虎屋町五六六一
井門明治安田生命ビル七階
TEL 〇七五 二二二―一六六五
FAX 〇七五 二二二―一八〇四
http://www.nissin.co.jp

Asahi SOFT DRINKS

アサヒビバレッジサイブス株式会社

京都桂支店

京都市西京区下津林前泓町三三
TEL 〇七五 三九四―五八三一
FAX 〇七五 三九四―五八三〇
http://www.asahimyo.co.jp

SHIMZ

清水建設株式会社

京都営業所

京都市中京区河原町通二条下ル一之船入町
三三四番地(京都ホテルアネックスビル五階)
TEL 〇七五 二二二―五二〇代
FAX 〇七五 二二二―八六四〇
E-mail:myo@shimz.co.jp

NAITO ARCHITECTS

株式会社 内藤建築事務所

代表取締役 **小島重喜**

京都市左京区田中大塚町一八二
電話(〇七五)七八一―四一一